ページ番号は付けないでください．実行委員会で付与します．
原稿作成時はこの赤字の注意事項は削除してください

SICE SI2017 予稿原稿の書き方（サンプル）

○計測 太郎（計測自動制御学会），　制御 花子（計測自動制御学会）

Instruction for SICE SI2017 Annual Conference Manuscript

○Taro KEISOKU (SICE), and Hanako SEIGYO (SICE)

Abstract: This manuscript describes a method for preparing a manuscript for the annual conference of the SI2017 (SICE).

１．緒言

本稿では SICE SI 部門講演会 SI2017 の予稿原稿を作成するための説明を行います．SI2017 では予稿原稿として PDF ファイル形式のファイルを電子投稿していただく事を原則とさせていただいております．ただし，電子化やネットワーク接続が困難な場合には個別に対応させていただきますので，プログラム委員会(si2017pc@sice-si.org)までご相談下さい．

２．原稿作成方法

2.1 原稿枚数，ファイル形式とファイル容量

原稿は 1 講演につき 1 ページから最大 6 ページとなります（キーノート講演も同様です）．提出していただく原稿のファイル形式は原則として PDF 形式といたします．PDF 形式とすることが不可能な場合には，プログラム委員会にご連絡ください．また，原稿完成時のファイルサイズは PDF 形式で 2MB 程度を上限の目安とさせていただきます．原稿送付時にはそれ以上でも受け付け可能な場合がありますが，その場合には全体の原稿の総容量により再提出をお願いする場合がありますので，ご了承下さい．

2.2 用紙サイズ，書式など

2.2.1 原稿の体裁

用紙サイズは A4 版(縦 297mm×横 210mm)とし，余白部分は左右 15mm，上 20mm，下 27mm を確保して下さい．（プログラム委員会側でヘッダ・フッタ部分に情報を追加する予定ですので，ご注意下さい．）よって，原稿作成領域は縦 250mm×横 180mm の枠内となります．

2.2.2 基本書式

原稿の記載内容は，下記の順序とします．

１） 和文題名（英文原稿の場合には不要，16pt ゴシックフォント推奨，センタリング）
２） 和文著者名・所属（英文原稿の場合には不要，12pt 明朝フォント推奨，登壇者に○を付加）
３） 英文題目（16pt Times-RomanBold 推奨，センタリング）
４） 英文著者名・所属（12pt Times-Roman 推奨，センタリング，登壇者に○を付加）
５） 英文アブストラクト（9pt Times-Roman 推奨，３～５行程度，文章両側を 10mm 程度インデント）
６） 本文（本文文章は 10pt 明朝フォント推奨，章見出しは 12～10pt 程度のゴシックフォント推奨）
７） 参考文献（10pt 明朝フォント推奨）

なお，１）～５）の英文アブストラクトの部分までを１段組，６）～７）の本文からを 2 段組として下さい．

2.2.3 図と表について

予稿は PDF ファイルとなりますので，図や表はカラーで作成していただいても構いません．ただし，ファイルサイズの制限にご注意下さい．図のキャプションは図の下に Fig.1, Fig.2 という具合に，表のキャプションは表の上に Table 1, Table 2 という具合にお付け下さい．（英語表記，フォントは 10pt Times-Roman 推奨）

３．結言

本稿はあくまで予稿原稿を作成するためのガイドラインを示したものです．改行幅やフォントの設定などについては，原稿の内容や量にあわせて適宜判断していただき，原稿を作成してください．

ページ番号は付けないでください．実行委員会で付与します．
原稿作成時はこの赤字の注意事項は削除してください